

手をつなごう2008

平成20年7月7日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 7

コーディネーター講座 6月30日始まりました!



「4回の講座すべてに参加できる方」ということで募集したのですが、75名もの方が申込をしてくださいました。事例を通しての研修にしては少し人数が多すぎるかな...と予想外の人数に嬉しい悲鳴をあげています。

さて、第1回目は「応用行動分析の基礎理解」ということで、本校のコーディネーター6人により、第1部「ロールプレイ」第2部「考えてみよう!」第3部「用語を知ろう!」の3部構成で行いました。

第1部のロールプレイでは劇団四炎(シエン)により、授業中の1場面を再現してみました。

シーン1

T君が苦手な国語の授業中。真面目に先生の話聞いていたAさんにちょっかいをかけるT君。支援員や担任がその都度注意するが、収まらず、とうとう担任に叱られて暴れる。→別室で好きなパズルをして落ち着く。



劇団四炎

劇団四季の向こうを張って、東備養護学校で結成された、コーディネーター6人による演劇集団。

「四炎」は「炎のように熱い思いで支援するぞー」という意気込みで、思いつきのように名付けられた。

今回の公演では、思わず見とれて写真を撮るのを忘れてしまい残念。今後の公演は未定。多分これで解散と思われる。

シーン2

同じく国語の授業中。先生は真面目なAさんやBさんによく声を掛けている。T君は物を投げたり、机をガタガタ動かしたり...その都度先生が近づいて注意をする。

第2部の「考えてみよう」ではこのロールプレイのT君の行動の役割を考え、行動に着目して3つの箱に分けてみる演習をしました。そして行動の意味・役割を考えることが支援のヒントになること、同じように見える行動でも種類(機能)や状況によって支援が異なること、また、目標を考える際の観点、目標の具体化などのお話をしました。

第3部の「用語を知ろう」ではABC機能分析、強化の原理、強化子(正の強化子・負の強化子)、行動形成(シェイピング)、行動連鎖(チェイニング・順行連鎖の例・逆行連鎖の例)、課題分析、トークンエコノミー、プロンプト、般化などの用語についてお話ししました。なかなかなじみのない用語ばかりですが、次回の奥田先生をお迎えしての講座に備え、応用行動分析の基本的な考え方や用語について少しはご理解いただけたのではないかと思います。